

No
1137

フランスの鹿狩り
伝統的追走狩猟

銃を使わない追走狩猟はイヌが主役。トロンセの森にくりひろげられるスペクタクルをみる。



▶ 18分 1979年撮影

No
1256

フランスの放鳥と狩猟

ソローニュ地方は野鳥の宝庫。狩猟のために、さまざまな鳥を飼育し、野鳥の数をまもる。



▶ 15分 1979年撮影

No
1257

食卓の黒いダイヤ
トリュフ

フランスのトリュフは、キャビアやフォアグラとならぶ世界の珍味。ブタがほりあてる。



▶ 15分 1979年撮影

No
1291

フィンランド語のはなし

豊かで細やかな表現をもつ、民族叙情詩カレワラをかたる、美しいひびきのフィンランド語。



▶ 15分 1985年撮影

No
1459

ダゲスタンの木工芸
北コーカサスの象嵌(ぞうがん)

生活用具から装飾品にいたるまで、独特の文様が刻みこまれたダゲスタンの木製品。



▶ 15分 1990年撮影

No
1460

アヴァール人の絨毯(じゅうたん)
北コーカサス・ダゲスタン

絨毯づくりの伝統は、山岳部の寒村に今なお生きつづけている。



▶ 17分 1990年撮影

No
1461

絨毯(じゅうたん)の町デルベント
北コーカサス・ダゲスタン

この町でつくられる美しい手織りの絨毯。町の人びとと絨毯の関わりをえがく。

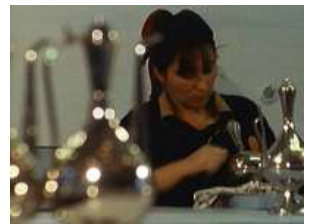


▶ 17分 1990年撮影

No
1462

ダゲスタンの金工
北コーカサスに伝わる金属細工

長い伝統を誇るダゲスタンの金属工芸は、優れた技法とデザインで知られている。

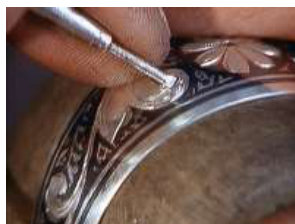


▶ 14分 1990年撮影

No
1463

クバチの銀細工
北コーカサス・ダゲスタン

中世以来、「鎧(よろい)職人」の村として知られたクバチは、銀細工の村として復活した。



▶ 19分 1990年撮影

No
1480

フェルトの敷物
北コーカサス・ダゲスタン

山岳部の生活に欠かせないフェルトの敷物は、今なお伝統的な製法で作られている。



▶ 17分 1990年撮影

No
1503

1995年夏のマラムレシュ
変わりゆく伝統と人々の暮らし

木造建築と民族衣装を誇ってきたこの地方にも、近代化の波が押し寄せてきている。



▶ 18分 1995年撮影

No
1504

サプンツァ村の機織り
ルーマニア・マラムレシュ地方

「陽気な墓」で有名な村のみやげものは毛織物。羊毛刈りから機織りまですべて人の手で行われる。

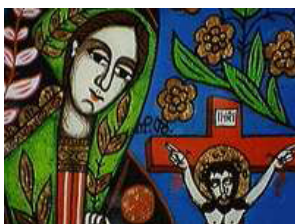


▶ 20分 1995年撮影

No
1505

生神女就寝祭(しょうしんじょしゆうしんさい)
マリア崇敬と巡礼 ルーマニア・ニクラ修道院

生神女就寝祭の行事に見る巡礼のありかたを紹介する。



▶ 20分 1995年撮影

No
1506

マラムレシュの羊飼い
山の日

人里離れた山奥の放牧地で羊とともに夏をすごす男たち。彼らの一日の仕事を紹介する。



▶ 20分 1995年撮影

No
1515

サーミ人のテント

北極圏の先住民族サーミ人。かれらの生活を支えてきた伝統的なすまいを紹介する。



▶ 16分 1995年撮影

No
1516

サーミ人の錘(おも)り機(ばた)

北極圏に住む少数民族サーミ人。かれらのもとに残されているヨーロッパの古い機織り技術を紹介する。



▶ 20分 1995年撮影

No
1603

エストニア南東部 セトウ

エストニアの少数民族セトウ人。昔ながらのパン作りやロシア正教の信仰など、かれらの生活について紹介する。



▶ 17分 1998年撮影

No
1604

エストニア・プスコフ湖岸のロシア漁村

ロシア人の村が点在するエストニアの国境付近。湖に生きる漁師の一日をおう。



▶ 18分 1998年撮影

No
1605

エストニアの民家

森林と湖の国エストニア。フィンランド湾に面した北部と内陸の南東部の民家を比較しながら解説する。

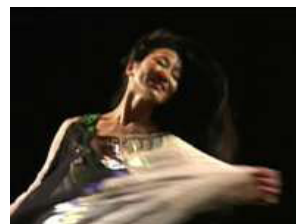


▶ 12分 1998年撮影

No
1663

あるベリーダンサーの記録
カメラア、半生を語る

東洋人でありながら一流のベリーダンサーとしてパリを拠点に活躍するカメラアさん。その半生は波乱に満ちている。



▶ 23分 2002-2003年撮影

No
1664 マヌーシュ(ジプシー)
フランスで移動しながらくらす人びと

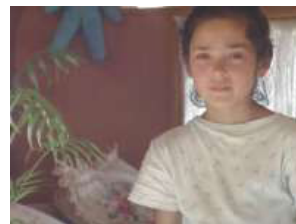
移動しながらくらす人びとの食事は？
仕事は何をしているの？学校へは
行っているの？いろいろな質問をして
みよう。



▶ 12分 1996年撮影

No
1665 学校がやってくる
マヌーシュ(ジプシー)の移動教室

移動民の後を追って、移動教室が
やってきた。10歳のプッチーニに、彼
女の学校を紹介してもらおう。



▶ 15分 1996年撮影

No
1666 マヌーシュの証言
フランスの移動民と強制収容所

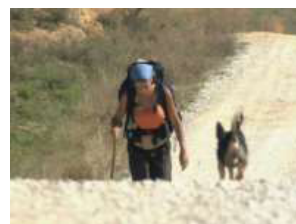
第2次世界大戦時、ユダヤ人とともに
強制収容所に入れられたマヌー
シュ。過酷な時代を生き抜いた彼ら
の貴重な証言を聞く。



▶ 17分 1996年撮影

No
1667 星の道
サンチャゴ・デ・コンポステラ巡礼

スペイン西端にあるキリスト教聖地
サンチャゴ・デ・コンポステラ。フラン
スから出発する巡礼路「星の道」をた
どる。



▶ 23分 2001-2003年撮影

No
1668 巡礼者ミッシェル・ラヴェドリン
サンチャゴ・デ・コンポステラ巡礼

巡礼者は光に向かって歩くので幸せ
だという。1350kmの道のりを歩きき
った67歳の元フランス軍人の姿を追
う。



▶ 23分 2001-2002年撮影

No
1669 教会の旅
サンチャゴ・デ・コンポステラ巡礼

千年を超える歴史の中で作られてき
た巡礼路。その道沿いに建つ美しい
ロマネスクやゴシックの教会を紹介し
ていく。



▶ 20分 2001-2003年撮影

No
1670 マダム・デュポンの宿
サンチャゴ・デ・コンポステラ巡礼

もてなしの精神が息づくサントント
ワンの巡礼宿。歩き疲れた人びとを
あたたかく迎え、送り出す宿のマダム
の一日を追う。



▶ 21分 2001,2003年撮影

No
1678 クレタ島の石職人

歴史的な石造りの建造物が数多く残
されているギリシャ・クレタ島。その
石職人であるディアクマッキ兄弟の
仕事をのぞいた。



▶ 26分 1998年撮影

No
1690 バレンシアの聖母マリア誕生祭と
管楽器ドゥルサイナ

聖母マリア誕生祭で演奏される管楽
器ドゥルサイナの音色。バレンシア地
方の祭と音楽・芸能を紹介する。



▶ 22分 2006年撮影

No
3690 Valencia's Virgin Mary Festival
and the *Dolçaina*

The Festival of Virgin Mary is held
annually in Eastern Spain where the
human pyramid is performed with the
accompaniment of the *Dolçaina*.



▶ 23min. filmed: 2006

No 7001 トリュフ

世界三大珍味のひとつ、トリュフ。ブタをつかったトリュフの採集法をフランス・ペリゴール地方で取材した。



研究用映像

▶ 26分 1979年撮影

No 7003 放鳥と狩猟

狩猟王国フランスでは、キジやウズラを捕えるだけでなく、人工孵化させて放つ。自然のサイクルを守る工夫を取材。



研究用映像

▶ 22分 1979年撮影

No 7054 ダゲスタンの木工象嵌(ぞうがん) 北コーカサスの伝統工芸

象嵌は木に金属を打ちこみ模様をえがく工芸。アヴァール人の村、ウンツクルの伝統技術を紹介する。

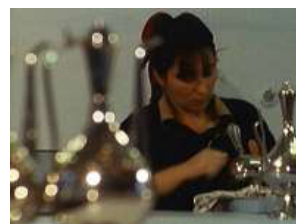


研究用映像

▶ 26分 1990年撮影

No 7055 北コーカサスの銅細工師 ダゲスタンの金属工芸

つぼや水差し、アクセサリーをつくるさまざまな技法。アヴァール人に受けつがれてきた伝統をえがく。



研究用映像

▶ 31分 1990年撮影

No 7056 鎧(よろい)職人の国 ダゲスタン・クバチ

かつて「鎧職人の国」とよばれたクバチ村。優美な銀製品をうみだす高度な技術をえがく。



研究用映像

▶ 28分 1990年撮影

No 7057 ダゲスタンのフェルト 北コーカサス

手作業でおこなうフェルトづくり。絨毯(じゅうたん)やコートなど、すぐれた製品の生産地として名高いラハタ村で収録。



研究用映像

▶ 30分 1990年撮影

No 7069 サーミ人の錘(おも)り機(ばた) 北極圏にのこされた手織機

かつてヨーロッパでは錘り機を使った機織りが行われていた。北極圏に住む少数民族サーミ人が継承する古来の機織り技術を追う。



研究用映像

▶ 48分 1995年撮影

No 7070 サーミ人とテント 北極圏に暮らす人々の伝統的住まい

トナカイとともに遊牧生活をおくっていたサーミ人。かつての生活を支えていた伝統的なすまいを紹介する。



研究用映像

▶ 52分 1995年撮影

No 7074 1694年の涙 ニクラ修道院・生神女就寝祭(しょうしんじょしゅうしんさい)

生神女とは聖母マリアのこと。伝統ある修道院での祭りに人びとのあつい信仰心をみる。



研究用映像

▶ 49分 1995年撮影

No 7129 エストニア南東部 セトウ

ロシアとエストニアにまたがる地域「セトウ」。そこに住む人びとの生活と伝統を守ろうとする姿を紹介する。



研究用映像

▶ 30分 1998年撮影

No 7147 パリ～ダカール～ジャワラ村
セネガル・ソニンケの出稼ぎ社会

ほとんどの成人男性がパリへ出稼ぎに行き、定年まで村との往復を繰り返します。パリで生活する彼らの思いや、村に残った家族の暮らしを紹介します。



研究用映像

▶ 52分 2000年撮影

No 7178 黒いマリアの巡礼
フランス中部・オルシバル

中世から巡礼の地として栄えたオルシバル村。年に一度のマリア昇天祭にマヌーシュたちが集まり、唄い、祈る。



研究用映像

▶ 34分 1998年撮影

No 7179 黒い聖女サラ信仰の巡礼
南仏サント・マリー・ド・ラ・メール

移動民(ジプシー)たちが祖先と信じる聖女サラ。その像は巡礼祭の日、海で清められ、祭りはクライマックスを迎える。



研究用映像

▶ 44分 1998年撮影

No 7180 クレタ島の石工

ディアクマッキ兄弟に石造りの家の建設を依頼したザカリアさん。石職人の伝統的な技術によって、古い家が新しく生まれかわる。



研究用映像

▶ 60分 1998-2001年撮影

No 7194 Routes of the French Way of St.James

Why do people want to make pilgrimages? What does pilgrimage mean to them? People search their hearts and sometimes may have powerful revelations walking the 1350-kilometer route.



With Subtitles・Program for Research

▶ 60min. filmed: 2001-2002

No 7205 神につながる音
ブルガリアのズルナ奏者 サミール・クルトフ

ブルガリアの民族楽器ズルナ演奏の名手、サミール。彼の日常生活からその優れた演奏の秘訣に迫る。



研究用映像

▶ 39分 2006年撮影

No 7212 Samir Kurtov
A Zurna Player from Bulgaria

Samir Kurtov is an extraordinary player of zurna, a double-reed instrument performed widely in Bulgaria. The film portrays his music, life and social environment.



With Subtitles・Program for Research

▶ 38min. filmed: 2006

No 7213 Виртуозът на зурната
българинът Самир Куртев

Много празници в България се провеждат под звуците на зурната. Със своя талант Самир е един от най-големите майстори в България. Фильмът разказва за неговата музика и социална среда.



Program for Research

▶ 39min. filmed: 2006

No 7228 Guitars of Portugal

The film features many local guitar traditions of Portugal, from Lisbon, Coimbra, Braga and Alentejo.



Program for Research

▶ 46min. filmed: 2006

No 8011 El Festival de la Virgen Maria y la *Dolçaina*

El Festival de la Virgen Maria se celebra anualmente en España donde la Muixeranga(un castillo humano) se realiza con el acompañamiento de la *Dolçaina*.



▶ 23min. filmed: 2006